

仕様書

1. 件名 超遠心密度勾配用装置

2. 研究の概要

国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、「産総研」という)細胞分子工学研究部門では、遺伝子治療用ウイルスベクターの開発を行っている。今年度はウイルスベクターを生産工程において、超高速遠心分離によりウイルスゲノムやウイルス粒子、ウイルス様粒子を精製・回収することを予定している。

3. 装置の概要

本装置は彫刻遠心分離を行う際に必要な密度勾配溶液を超遠心用チューブ内でフラクションの作成および超遠心後の密度フラクションごとの回収に用いるものである。十分な分画能を得るため正確に密度勾配フラクションを作成すること、さらに回収の際は目的フラクション外の液体の混雑を防ぐためフラクションごとに正確な回収が行えることが必要である。

4. 装置の基本構成

- 4.1 超遠心密度勾配用装置本体
- 4.2 密度勾配作成用ホルダー
- 4.3 密度勾配分画用ホルダー

5. 基本構成別仕様

5.1 超遠心密度勾配用装置本体

(1) 密度勾配作成部分

- ① 遠心チューブ6本同時に、チューブ内に希望する密度勾配を短時間で作成可能な機能を有していること。
- ② 各種密度勾配を再現性良く作製するため適切な作成条件のデータが蓄積・整理されていて、それらの条件が使用可能なように提供されること。
- ③ 外径14mm、長さ89mmの遠心チューブ内に希望する密度勾配が作成できること。

(2) 密度勾配分画部分

- ① 最小フラクションサイズが0.01mmまで設定できる機能を有していること。
- ② チュービング内をリンス液またはエアで洗浄できる機能を有していること。
- ③ チップの内側がトランペット型の形状を有していること。
- ④ 散乱光によりバンドを確認できる機能を有していること。

5.2 密度勾配作成用ホルダー

- ① 外径14mm、長さ89mmの遠心チューブを6本保持できること。
- ② マグネットにより、装置本体と容易に取り外しできること。

5.3 密度勾配分画用ホルダー

- ① 外径14mm、長さ89mmの遠心チューブを保持できること。
- ② ホルダー底部からランプ光が取り入れ可能な構造であること。
- ③ ホルダー内に水を挿入しても水漏れが起きない構造であること。

6. 納入確認試験等

- ・装置納入時に、装置の動作確認を実施し、動作確認報告書を提出すること

7. 納入物品

- ・ 超遠心密度勾配用装置 1台
- ・ 密度勾配作成用ホルダー 1組
- ・ 密度勾配分画用ホルダー 1組
- ・ 取扱説明書 1部
- ・ 動作確認報告書 1部(磁気記録媒体を使用せず、メール等で納入すること。)

8. 納入期限及び納入場所

納入期限：2024年11月1日

納入場所：東京都江東区青海2丁目4-7

国立研究開発法人産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門
臨海副都心センター バイオ・IT融合研究棟 3205号室

9. 付帯事項

- ・ 納入時には、本装置の安全操作及び一般的な保守について講習を行うこと。
- ・ 本装置は、据付調整の後、当所担当者の立ち会いのもとに仕様書を満たしていることの確認を行い、納入の完了とする。
- ・ 納入された製品における能力内の使用中に発生した1年以内の故障については、その修理、調整等責任をもって無償で行うこと。
- ・ 本仕様書の技術的内容及び知り得た情報に関しては、守秘義務を負うものとする。
- ・ 本仕様書の技術的内容に関しては、産総研担当者の指示に従うこと。また、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、調達担当者との協議のうえ決定する。

以上